

令和3年度

事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	07	01	03	174320	観光イベント開催事業費	
総合計画	分野	01	しごと	政策	04 観光の振興	
	施策	01	観光の魅力向上			
目的	地域資源の保全と魅力アップを図るため、まつりやイベントの開催を支援する。					
対象	まつりやイベント					
意図	まつりやイベントが守られ魅力が向上する。					
事業概要	まつり、イベントの開催経費の一部を負担する。 南部杜氏の里まつり 田瀬湖湖水まつり イーハトーブ音楽祭 石鳥谷夢まつり あんどんまつり イーハトーブフォーラム 石鳥谷まつり 花巻まつり 花巻まつり特産品フェア 土沢まつり 大迫ワインまつり わんこそば全日本大会 大迫・宿場の難まつり 上記予定イベントのうち、 ・開催したイベントは イーハトーブ音楽祭のみ（負担金の支出なし） ・花巻まつり3,800千円と わんこそば全日本大会1,800千円を支出（負担金合計額：5,600千円）					
市民参加の有無	対象外					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	R02	R03	R04
1	支援対象祭事、イベント支援団体数		団体	計画	13.00	13.00
				実績	1.00	3.00
2				計画		
				実績		
3				計画		
				実績		
成果指標		単位	区分	R02	R03	R04
1	支援対象祭事、イベントへの来場者数（年度）		人	目標	301,500.0	301,500.0
				実績	150.00	150.00
2				目標		
				実績		
3				目標		
				実績		
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、まつりやイベントの中止が相次いだことから、目標を下回る結果となった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・まつりやイベント開催は民間主導で行われるべきものである。 ・まつり等を観光誘客の場として活用していることから、観光振興を図るため行政による支援を行うものである。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	適切な助言を行うことにより魅力を向上させることができる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	支援団体への負担金、補助金の額は、毎年十分に検討されたうえで、その年の状況に応じた額が決定されており、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	まつりやイベントへ市民が参加する機会は平等に与えられている。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
	適正である	
総合評価	今年度の振り返り	新型コロナウイルス感染症拡大を受け、全国的に多くのまつりやイベントの中止が余儀なくされ、結果として入込数は目標に達しなかったが、中止の判断は各実行委員会において十分に検討された結果であり、感染拡大を防止する上ではやむを得ない判断であった。
	次年度に向けて	引き続き新型コロナウイルス感染症の状況をにらみながら、安心安全なまつり・イベントの開催に向け、主催者や出演団体と協議を重ね必要な支援を行う。

令和3年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	07	01	03	174330	広域観光推進事業費	
総合計画	分野	01	しごと	政策	04 観光の振興	
	施策	01	観光の魅力向上			
目的	市内への誘客を促進するため、広域的な観光資源の組み合わせによる事業を展開する。					
対象	観光客					
意図	花巻を訪れる機会が広がる					
事業概要	釜石線沿線活性化事業支援 400千円 釜石線沿線の自治体等が連携してS L銀河の運行を軸とした観光PRを行う釜石線沿線広域エリア活性化委員会への負担金 産業観光/体験観光広告宣伝 242千円 北上市と連携し広域的に両市の産業観光や体験型観光をPRする動画を作成 花巻・遠野・平泉観光推進協議会事業補助金 400千円 花巻・遠野・平泉観光推進協議会への事業補助					
市民参加の有無	対象外					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	R02	R03	R04
1	連携する他市町村数	団体	計画	6.00	6.00	
			実績	6.00	6.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	R02	R03	R04
1	広域（花巻・遠野・平泉）観光客入込数（暦年）	万人	目標	586.20	587.20	
			実績	303.80	293.96	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
全国的な新型コロナウイルスの感染拡大に伴うイベントの中止や広域的な移動の自粛等により、広域観光客入込数が減少した。中でも平泉町が、2019年比の38.2%まで減少した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	観光客入込みが伸び悩んでいる中、広域連携による旅行商品造成・観光PR等に必要な支援を行う必要がある。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	他地域との連携により観光地としての更なる魅力向上が見込まれる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	一時、平泉への入込数が減少したことからツアー回数も減少したが、商談会等での積極的なPR活動等により増加してきたため、事業費が不足がちになっている。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	観光振興は市全体が受益となる。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	広域観光に関連した大々的な誘客キャンペーンがコロナ禍により実施できなかったが、釜石線沿線でのS L銀河乗客のおもてなし、北上市と連携した観光コンテンツPR動画作成など、可能な範囲で現状に合わせた取り組みを実施した。
	次年度に向けて	S L銀河の運行終了が令和5年春に予定されることから、終了を惜しむS Lの乗客数の増加を見込む。アフターコロナを見据え、連携した誘客関連事業の強化を図る。

令和3年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	07	01	03	174380	観光施設維持事業費	
総合計画	分野	01	しごと	政策	04 観光の振興	
	施策	01	観光の魅力向上			
目的	観光施設の長寿命化を図るため、施設の調査や改修計画を策定する。					
対象	観光施設					
意図	施設を適切に維持管理し、施設の長寿命化と、利用者の安全・安心を確保する					
事業概要	交流会館の大規模改修計画策定及び再検討の実施 ・花巻市交流会館屋上防水改修再検討及び劣化調査、改修（修繕）計画策定業務 0千円 本件について当初計画していた事業内容が協議により手法の変更があり、結果的に方針が定まらず補正により全額減額補正をした。そのため事業執行なし。					
市民参加の有無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	R02	R03	R04
1	観光施設の大規模修繕、改修計画策定及び再検討等	件	計画	1.00	1.00	
			実績	1.00	0.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	R02	R03	R04
1	観光施設の維持修繕件数	件	目標	40.00	30.00	
			実績	35.00	20.00	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
各関連部署等と協議を行い、結果的に令和4年度からの補修ヘシフトした。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・市が所有する施設であり、主体的に維持管理を実施する必要がある。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	・大規模改修を行うことにより長寿命化が図られ、ある程度の補修の抑制が期待できる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・現場の実態に合わせた工法等を検討しており、現場によっては代替性が乏しいことから、削減の余地はない。また、限られた人員の中で現場等との調整を図る必要性があり、人件費についても削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	・施設利用者の安全、安心の確保のために行う維持管理であることから適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	各関連部署等と協議を行い、結果的に令和4年度からの補修ヘシフトした。
	次年度に向けて	令和4年度から5年間の補修計画を立て、施設の補修を実施していく。

令和3年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	07	01	03	174410	道の駅「石鳥谷」施設再編事業費	
総合計画	分野	01	しごと	政策	04 観光の振興	
	施策	01	観光の魅力向上			
目的	道の駅「石鳥谷」の施設の魅力向上、利便性の向上を図るため、施設の再編を行う。					
対象	道の駅利用者（国内観光客、インバウンド、自動車利用者、市民等）					
意図	交流人口の拡大、賑わいの創出を図る。					
事業概要	各施設・外構部の工事 101,304千円（うち繰越明許費27,940千円） 酒匠館内装等改修工事、広場工事、りんどう亭大食堂空調設備改修工事（R2繰越明許） 各施設・外構部の業務委託 12,303千円 南部杜氏伝承館展示改修業務委託、広場散水設備設置業務委託、観光案内看板撤去業務委託他 物販仮設営業に係る移転作業 1,741千円 国や関係機関、団体との協議・共通経費 254千円					
市民参加の有無	無し					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	R02	R03	R04
1	南部杜氏伝承館展示改修業務の実施	回	計画	0.00	1.00	
			実績		1.00	
2	酒匠館内装等改修工事・りんどう亭大食堂屋根塗装等工事等の実施	回	計画	0.00	1.00	
			実績		1.00	
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	R02	R03	R04
1			目標			
			実績			
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
道の駅「石鳥谷」は、国（国土交通省）が所管する24時間トイレ、情報提供施設、駐車場（国所管分）、市が所管する地域振興施設（南部杜氏伝承館、酒匠館、りんどう亭大食堂、石鳥谷農産物直売所など）で構成する施設である。国と市がそれぞれ所管する施設の整備や改修を連携しながら進めているが、成果として期待する交流人口の拡大や賑わいの創出については、施設再編の途中であり、事業完了後にしか検証出来ないため、成果指標は設定していない。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	道の駅は公共施設で構成しており、施設管理者（市）が関与するのは妥当である。
	妥当である	
見直し余地がある		
妥当でない		
有効性	成果の向上余地	道の駅の施設再編を行うことは施設の魅力向上、利便性の向上が期待できることから、成果の向上余地がある。
	向上余地がある	
向上余地がない		
効率性	事業費・人件費の削減余地	最低限の予算を見積もったところであり、事業費削減の余地はない。また、従事職員も最低限の職員で対応しており、人件費の削減余地が無い。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
どちらも削減余地がない		
公平性	受益と負担の適正化余地	道の駅という公共施設の再編に係る事業であり、施設管理者の責任で行うものであるため、受益と負担の見直し余地は無い。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
	適正である	
総合評価	今年度の振り返り	令和元年度に策定した基本構想・基本計画に基づき、令和3年度は酒匠館内装等改修工事の実施及び工事期間中の物販仮設営業に要する什器等の移転業務を実施したほか、広場工事及び広場緑地帯に散水設備を設置した。また、令和4年度計画の南側駐車場舗装に向けて、道の駅構内に所在する石碑等の移設や観光案内看板等支障物件の撤去を実施した。なお、りんどう亭大食堂屋根塗装等工事については改修工法の再検討及び施工時期を考慮し、令和3年度の実施は取りやめ令和4年度に実施することとしたほか、南部杜氏伝承館展示改修業務については資材調達等が難航し令和3年度中の完了に遅れが生じたため、令和4年度へ繰り越し5月完了予定として引き続き実施することとした。
	次年度に向けて	地域振興施設の工事としてりんどう亭大食堂屋根改修、外構部の工事として広場舗装及び南側駐車場舗装、身障者駐車場等建築、EV充電施設設置等実施するほか、農産物直売所の解体、立ち食いソバ屋撤去移設を実施する。なお、外構部の工事等にあたっては国側のトイレ情報施設の新設及び既存施設解体、駐車場舗装工事の施工時期及び進捗状況を確認しながら実施する必要があるため、引き続き国と連携しながら進めてまいりたい。

令和3年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	07	01	03	174440	観光・物産事業者等緊急対策事業費	
総合計画	分野	01	しごと	政策	04 観光の振興	
	施策	01	観光の魅力向上			
目的	新型コロナウイルス感染症拡大により、事業活動や経営の継続に影響を受けている事業者を支援するため、誘客に資する事業を行う。					
対象	観光客					
意図	県内外から観光客を誘引することで、観光事業者はもとより宿泊・交通・物産・飲食等の関連事業者を広く支援しようとするもの。					
事業概要	温泉宿泊施設等利用促進事業 748,469千円（繰越執行93,968千円＋現年執行654,501千円） 市内の温泉宿泊施設等の利用者（県民）を対象に利用料を助成 物産関連事業者支援業務 14,400千円 市内の温泉宿泊施設等の宿泊者を対象に市内物産品が当選するキャンペーンを実施 イベント中止等に伴う準備経費支援金 9千円 コロナ禍の影響を受け中止となったイベントに対し経費補助 観光関連施設事業者事業持続支援金 1,500千円 施設休館に伴い影響を受けた関連事業者に対し事業持続支援 貸切バス事業持続支援金 34,000千円 貸切バスの維持・整備等の経費に対し支援 まつり山車団体継続支援事業補助金 4,206千円					
市民参画の有無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	R02	R03	R04
1	支援を行う温泉宿泊施設等	箇所	計画	32.00	34.00	
			実績	35.00	37.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	R02	R03	R04
1	観光客入込数（暦年）	千人	目標	2,101.00	2,106.00	
			実績	1,087.90	1,098.70	
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度		目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
新型コロナウイルス感染症の影響により、観光需要は依然として冷え込んだままであった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	事業の実施により誘客促進が図られ、事業者への経済的な支援となることが目される。
	妥当である	
	見直し余地がある	
妥当でない		
有効性	成果の向上余地	事業の実施にあたっては、花巻観光協会や温泉宿泊施設等関係者の意見も随時聴取しながら、時宜を捉えて状況に応じ展開することで、さらなる成果の向上が見込まれる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業立てにあたっては、関係者からの意見等も踏まえながら事業費や人件費を精査しており、いずれも削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
どちらも削減余地がない		
公平性	受益と負担の適正化余地	観光振興は観光客・観光事業者はもとより、宿泊・交通・物産・飲食事業者等、受益者は多岐にわたる。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
適正である		
総合評価	今年度の振り返り	新型コロナウイルス感染症の収束の兆しは未だ見られないものの、観光関連事業者の意見や状況を踏まえ、温泉宿泊施設等利用促進事業をはじめ誘客に資する各種事業を適宜実施した結果、令和3年の観光客入込数は令和2年を上回った。
	次年度に向けて	新型コロナウイルス感染症が収束するまでは、引き続き観光関連事業者への支援が必要であることは明白であり、観光関連事業者等の意見や状況も随時聴取しながら、時宜を捉え必要な事業を実施する。

令和3年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	07	01	03	174450	観光施設等感染症予防対策事業費		
総合計画	分野	01	しごと	政策	04 観光の振興		
	施策	01	観光の魅力向上				
目的	新型コロナウイルス感染症拡大により事業継続に影響を受けている事業者への支援を行う。						
対象	市内の宿泊事業者のうち、岩手県観光宿泊施設緊急対策事業費補助金を活用した事業者。						
意図	長引く新型コロナウイルス感染症の感染拡大や、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の発令等により観光客が激減。宿泊業はじめ、観光関連事業者は深刻な影響を受けているが、事業者は感染症拡大防止のため、引き続き必要な措置を講じる必要がある。						
事業概要	市内の宿泊事業者が、岩手県観光宿泊施設緊急対策事業費補助金を活用し、下記の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等にかかる整備を行う場合、当該整備に要する経費のうち1/4相当分を支援する（県の補助に上乗せ）（県補助は1/2）。 (1) 感染症対策に資する物品の購入等 10,371千円 設備、備品の購入 備品のリース 消耗品の購入 専門家による感染症対策の検証 (2) ワークーション、マイクロツーリズム等新たな需要に対応するための受入環境整備 0千円 コンテンツ開発 施設改修 備品購入 非接触チェックインシステムの導入						
市民参加の有無	無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標			単位	区分	R02	R03	R04
1				計画			
				実績			
2				計画			
				実績			
3				計画			
				実績			
成果指標			単位	区分	R02	R03	R04
1				目標			
				実績			
2				目標			
				実績			
3				目標			
				実績			
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
本事業は、県が実施する観光宿泊施設緊急対策事業費補助金に上乗せ補助をすることで、事業者の負担を軽減し感染症拡大防止等にかかる整備の推進を図ることを目的としているため。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	観光関連事業者が感染症対策を取ることが基本であり、それに必要な支援は大いに推進していくべきのものであり、結果的に観光客への安心・安全を提供できる。
	妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	感染症対策に有効な手段を導入し、観光客数の増加を見込む。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	感染症対策のための対策であり、削減余地はないものとする。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	支援を希望する事業者へ施設規模別に支援を実施。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	事業者の新型コロナウイルス感染症対策に必要な物品等の購入に対し、一層の支援をすることで観光客の安全・安心を確保できた。
	次年度に向けて	新型コロナウイルス感染症対策に更なる支援が必要と見込まれる時には、しっかりと対策を講じていくことが必要である。

令和3年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	07	01	03	174460	東北デスティネーションキャンペーン推進		
総合計画	分野	01	しごと	政策	04 観光の振興		
	施策	01	観光の魅力向上				
目的	東北デスティネーションキャンペーン（東北DC）を契機とした市内への誘客促進を図るため、観光コンテンツを充実させ、広域的にPRする。						
対象	市外在住者						
意図	花巻を訪れたいような機会の創出						
事業概要	「雨ニモマケズ」手帳公開 841千円 「雨ニモマケズ」手帳公開中止に伴う駐車場警備委託契約の解約料 278千円 八幡田んぼアート 例年開催している「八幡田んぼアート」に特別に「東北DC」の文字を追加 東北DCノベルティグッズ作製等 402千円 花巻駅前歓迎フラッグ再設置 27千円						
市民参加の有無							
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標		単位	区分	R02	R03	R04	
1	東北DC特別企画の創出数	件	計画	0.00	5.00		
			実績	0.00	5.00		
2			計画				
			実績				
3			計画				
			実績				
成果指標		単位	区分	R02	R03	R04	
1	観光客入込数（暦年）	千人	目標	2,101.00	2,106.00		
			実績	1,087.90	1,098.70		
2			目標				
			実績				
3			目標				
			実績				
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
東北デスティネーションキャンペーン（東北DC）期間中に、関東や東北域内において、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等が重なったことから、人流抑制の影響を大きく受けることとなり、目標に遠く及ばない結果となった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	東北デスティネーションキャンペーンの開催地となるのは数年に一度であり、これを契機とした市内への誘客促進は至極当然のものと考えられる。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	当市は東北有数の温泉地を有しており、この強みを活かしながら他の観光コンテンツも改善し組み合わせることでさらなる誘客が見込まれる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業の構築にあたっては、関係者からの意見も踏まえながら事業費や人件費を精査しており、いずれも削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	観光振興は観光事業者のみならず宿泊・交通・物産・飲食関係等々、受益事業者は多岐にわたる。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	新型コロナウイルスの影響により、誘客を期待していた特別企画をPRする機会が失われたものの、東北DC公式サイトに多くの観光素材を掲載することで情報発信に努めた結果、令和2年度の観光客入込数を上回る結果となった。
	次年度に向けて	令和4年7月から9月にかけて開催されるJR東日本主催の大型観光キャンペーン（アフターDC）に向け、東北DCのレガシーを活用した特別企画をPRすることで、誘客促進を図る。 なお、東北DCは令和3年度で終了したため、令和4年度はアフターDCにかかる事業費として観光情報発信事業費に組み入れ予算化している。